

25年史

飯能ロータリークラブ

25年史



飯能ロータリークラブ

四つのテスト



バナーによせて

平岡文夫

飯能地方を象徴するものとして山と、材木、繊維を取り上げて図案化したものが現在のバナーです。繊維はふち飾りのギューパーレースで現わしました。

地色は、明るい、平和な飯能と名栗川、高麗川の水を表現して、ブルーに決めました。



飯能ローターリクラブ

創 立	昭和39年7月22日
承 認	昭和39年11月2日
認証状伝達式	昭和40年4月7日
創 立 会 員	36名
区 域	飯能市、名栗村
事 務 所	飯能商工会議所内
例 会 場	埼玉銀行飯能支店
例 会 日	水曜、12時30分
姉妹クラブ	韓国東清州R.C.
子 ク ラ ブ	越生毛呂R.C.
”	日高R.C.

目 次

発刊によせて	会長 細田吉春.....	5
飯能ロータリークラブ創立25周年記念行事		6
22年以降5年間の記録.....		22
編集後記		50

発刊に寄せて

会 長 細 田 吉 春

飯能ロータリークラブも、早や25年という大きな節目の年をむかえました。

この25年という歳月を振り返ってみますと、担々とした歩み乍ら、郷土愛、人間愛の精神を土台とし、多くの事業を生み育て結実させることのできた、まことに美しい歳月であったとの感慨を新たにいたします。

何よりも素晴らしいのは、奉仕という一つの理想に結ばれた会員同志の、友情と信頼の熱い心が大きく育ててきたことだと思えます。

平和で住みよい社会づくりへの夢をもった、この仲間たちの人間愛というエネルギーが一つになって、25才の飯能ロータリークラブは成熟の時をむかえました。この25年という節目を新たにし、またいろいろな問題にむかって、一步を踏みだしていく責任を感じます。

昨今、化学技術の発展はすばらしく、その反面、地球の温暖化、大気汚染、オゾン層の破壊、海洋汚染など産業や生活が吐き出す公害等々、人間の生存さえ危うくなるような、環境破壊が問題となって山積しております。

豊かさを追い求める生活そのものが、この環境破壊をおし進めていく原因となっているようです。

こうした地球全体的な人類生存問題も、これからのロータリークラブが取り組んでゆく重要な課題の一つではないでしょうか。

東西ドイツが一つに統合され、またソ連のモスクワにロータリークラブが誕生等々、主義主張を超えて自由な平和な世界へと、今世界は大きく移行しつつあります。

国際的規模をもつロータリーがその推進を担うとき、成熟した飯能ロータリークラブが今後の使命を果たす上で、25周年の実績を踏まえ、ますます活躍できるよう努力したいものです。

本誌の発刊にあたり、飯能ロータリークラブに対しこれまで与えていただきました関係各位の、ご厚情を心から感謝申し上げます。

なお、この年史の編集にあたり、森和夫編集委員長をはじめ委員の方々に、大変なご協力をいただきました。厚くお礼を申し上げます。



飯能ロータリークラブ
創立25周年記念行事



25周年記念行事実行委員会

ク	ラ	ブ	会	長	細	田	吉	春
			副	会	福	田	博	
			幹	事	橋	本	茂	
			S	A	大	木	重	雄
			A		井	上	太	平
実	行	委	員	長	江	原	寿	
			副	委	大	野	勝	男
			〃		平	岡	文	夫
総		務			新	井	清	平
			〃		吉	島	力	良
			〃		吉	田	富	雄
受		付			竹	田	久	治
接		待			林		幸	一
会		場			斉	藤	文	雄
表		彰			清	水	栄	次
記	念	品			関	谷		昭
パ	ー	テ			石	井	照	雄
救		護			森		和	夫
記	念	誌			溝	口	卓	男

創立25周年記念式典



平成2年4月11日(水)

記念行事

日付 平成2年4月11日(水)午後3時
場所 市内大河原「岩清水」

—— 飯能R.C.25周年記念式典次第 ——

中国の諺に「年々歳々花相似たり、歳々年々人同じからず」とありますが今年も桜の花が咲きました。

飯能ロータリークラブも創立してから25年経ち、その間いろいろなことがありましたが、本日御来駕の皆様方の御指導と、会員の皆様の協力により25周年記念式典をむかえることになりました。

司会	幹事	橋本 茂
点 鐘	会長	細田吉春
国歌「君が代」斉唱		
ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱		
開会の挨拶	実行委員長	井上 太平
会長挨拶	会長	細田吉春
来賓紹介	副会長	福田 博

物故会員への黙禱

武 居 藤 吉 殿
浅 野 茂 保 殿
加 藤 善 兵 衛 殿
町 田 義 晴 殿
荒 井 栄 殿
曾 根 丈 治 良 殿

来賓祝辞

第257地区パストガバナー	繁 田 正 一 殿
第257地区分区代理	大 河 原 栄 一 殿
スポンサークラブ入間R.C.会長	中 島 毅 殿
大韓民国東清州R.C.会長	バクハンスン 殿
飯 能 市 長	小 山 誠 三 殿
名 栗 村 長	浅 見 寅 雄 殿

創立会員代表挨拶 初代パスト会長 平岡 文夫
祝電披露 S.A.A. 大木 重雄

257地区ガバナー 堀 一 男

— 創立25周年おめでとうございます。

貴クラブのすばらしい25周年の奉仕の歴史に心から敬意を表し、今後のますますの御活躍を御期待申し上げ、会員皆様の御多幸を御祈念申し上げます。—

記念事業目録贈呈

飯能市へ金一封 郷土館備品代として
名栗村へ金一封 100周年事業費として
東清州R.C.へ記念品 C.D.カセット

飯能市スポーツ少年団野球部へ優勝旗贈呈

埼玉銀行飯能支店 寸志贈呈

飯能商工会議所 寸志贈呈

会 員 表 彰

- (1) 創立以来在席会員 7名 代表 新井 清平
- (2) 20年以上在席会員 3名 代表 溝口 卓男
- (3) 15年以上在席会員 7名 代表 斉藤 文雄
- (4) 10年以上在席会員 17名 代表 関谷 昭

職 員 表 彰

2名 佐藤 喜久江 山岸 多加子

閉会の挨拶 副実行委員長 江原 寿

点 会長 細田 吉春

~~~~ 記 念 講 演 ~~~~

パストガバナー                      繁田 正一 殿

~~~~ 祝                      宴 ~~~~

司会 幹事 橋本 茂

開会あいさつ

パスト会長 吉島 力良

祝 辞

日高R.C.会長 高木 泰文

乾 杯

パスト会長 新井 清平

中 ∕

パスト会長 溝口 卓雄

大 ∕

パスト会長 吉田 富雄

閉会あいさつ

副実行委員長 大野 勝男

以 上

25周年記念式典式の記録

○ 開会の挨拶

実行委員長 井上 太平

飯能ロータリークラブの25周年記念式典を催しましたところ、繁田バスターガバナー御夫妻をはじめとし近隣クラブの会長、幹事、そして私たちクラブの姉妹クラブである東清州の大勢のお客様を迎えてここに盛大に記念式典が行われますことを心から御礼申し上げます。

今年は暖冬であったため桜が早く咲いてしまい皆様に桜を見て頂くことが出来なくて残念でございます。

しかし、萌黄色に息づき始めている自然に囲まれた飯能も捨てがたい趣があります。皆様にはこの飯能での今日の一日を有意義に過ごされるよう祈念いたします。

○ 会長挨拶

会長 細田 吉春

飯能ロータリークラブの25周年記念式典を皆様とともに御祝い出来ますことは大変有難く御同慶に堪えない次第でございます。

今日は多数の御来賓に御出席頂き又姉妹クラブである韓国の東清州ロータリークラブの皆様には奥様御同伴で御出席賜わり錦上添花を添えて頂いた思いでございます。

昭和39年飯能ロータリークラブは、武蔵ロータリークラブをスポンサークラブとして創立され初代平岡文夫会長以降歴代会長のもと奉仕の理想の実現に邁進してまいりました。

ロータリーの奉仕の中心はロータリアン個人からスタートするものと思います。世界の情勢は変わってきておりソ連のペレストロイカ、東欧の自由化の問題等地球的变化をしております。私たちロータリークラブでももう一度奉仕のやり方、奉仕のあり方を考えなおす時期ではないかと思っています。飯能ロータリークラブとしては地域社会に対する奉仕の実績として広く福祉にとり組んできました。今後は明るい街づくりということにも協力してゆきたいと思っています。又国際的な関係については姉妹クラブとの親善、青少年の文化の交流という面に力を注いでいます。奉仕の実績についてはいろいろございますが私もロータリークラブに入会させて頂いていろいろ

な奉仕を体験させて頂きました。そしてつくづく感ずることは奉仕とは喜びだということでございます。

徳川無声さんの言葉を紹介させて頂きます。
「今や私の生き甲斐は至極平凡な答えだが小さな孫二人にある。大きな方が4才小さな方が3才というわけで先日、七五三のお祝いをした。お揃いの晴着を着て頭にお化粧髷をつけ長い飴袋をぶらさげて玄関から只今と帰ってきた姿は、可愛いいの何の言語に絶した。その瞬間、私は絶対に幸福であると感じた。私は今や74才である。どう長生きしたところでこの長い飴袋をぶら下げた小さな孫娘の厄介になる場合はまあ想像の他である。私は可愛がる一方で間もなくこの世を去るであろう。可愛いと感ずる時に私は幸福を得ている。幸福の貰い放題で私はおさらばである」
こんな感じの奉仕を私はやってゆきたいと思えます。これから飯能ロータリークラブも奉仕の実績を積み重ねてゆかねばならないと存じますが感動しあえるような奉仕をしてゆきたいと思えます。
皆様方の御繁栄と御健勝を心より御祈りさせて頂いて挨拶とさせて頂きます。



事務職員表彰



○ 来賓紹介

| | |
|----------------|---------------|
| 257地区パストガバナー | 繁田正一殿
同 夫人 |
| 257地区第3分区分区代理 | 大河原栄一殿 |
| 飯能市長 | 小山誠三殿 |
| 名栗村村長 | 浅見寅雄殿 |
| 大韓民国東清州R.C. | キム・ヒモ殿 |
| | 他22名の婦人同伴の友人 |
| 所沢 R.C. 会長 | 梅沢定彦殿 |
| 幹事 | 倉片 陟殿 |
| 狭山 R.C.副会長 | 増田定司殿 |
| 幹事 | 久下栄一殿 |
| 入間 R.C. 会長 | 中島 毅殿 |
| 幹事 | 清水仁恵殿 |
| 新所沢R.C. 会長 | 田中弘一殿 |
| 幹事 | 二上善吾殿 |
| 日高 R.C. 会長 | 三角昭次殿 |
| 幹事 | 小野寺 強殿 |
| 所沢西R.C.副会長 | 萩野賢司殿 |
| 幹事 | 小久保 昇殿 |
| 新狭山R.C. 会長 | 坂野好邦殿 |
| 幹事 | 吉森里和殿 |
| 越生毛呂R.C.会長エレクト | 俵木貞夫殿 |
| 幹事 | 斉藤昭次殿 |

もと飯能R.C.のメンバーで現在日高R.C.に入っておられる方

| | |
|-----------|-----------|
| | 三角昭次殿 |
| | 田野保夫殿 |
| | 花家孝之殿 |
| | 小林忠雄殿 |
| | 武藤英雄殿 |
| 米山奨学生 | キム・ホーテン 君 |
| 飯能商工会議所専務 | 森本周二殿 |

○ 来賓祝辞

257地区パストガバナー

繁田正一 殿

皆さん、しばらくでした。本日は飯能ロータリークラブ25周年おめでとうございます。もう25年経ったのかと感慨で一杯です。

私は後ほど皆様にお話を申し上げますのでここではおめでとうと申し上げて挨拶とさせていただきます。

257地区3分区分区代理

大河原栄一 殿

メッセージ代読 日高R.C.パスト会長 三角昭次 殿

お祝の言葉

飯能R.C.の皆様、創立25周年おめでとうございます。

貴ロータリークラブは昭和39年7月22日創立され同年11月2日本県で19番目のロータリークラブとしてR.I.より認証されました。

爾来25年歴代のすぐれた会長を中心に地域に密着しての奉仕活動を積極的に推進し数々の成果をあげられました。このことは社会奉仕活動に於ても幾多の地区表彰の受賞に輝く栄誉が如実に物語っており分区内はいうに及ばず地区内でも模範クラブとして私どもは敬意を表しておるところであります。

私は昨年7月分区代理就任直後の例会にお伺いし、その後9月のガバナー公式訪問の折りにも参上したわけですが細田会長の機智に富んだお話の中にロータリーの蘊蓄が縷々語られその造詣の深さに感銘を受けるともち会員こそってロータリーを愛し理解されて本年度R.I.会長のテーマ「ロータリーを楽しもう」を見事に実践される姿にあらためて25年の歴史のもつ重さと価値を痛感いたしました。

本日の式典も会員の皆様がこの輝かしい25年の歴史をふり振り返り歩み来た一つ一つの活躍をなつかしく思い起こしその中から今後の活動への新しい決意をするためのものと存じます。

山紫水明を誇る街飯能の名栗川のほとりに輝く25年の金字塔を打ち建てた飯能ロータリークラブ万才。この輝く伝統の上にさらに一層の光彩を加えられますことを御期待申し上げますとともに会員皆様の御健勝を祈念してお祝の言葉とします。

スポンサークラブ 入間R.C.会長

中 島 毅 殿

飯能ロータリークラブ25周年おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

さる1月27日入間ロータリークラブ30周年記念式典には飯能クラブより細田会長及び橋本幹事に参列して頂き、この席をかりてあらためて御礼を申し上げます。

1990年は激動の年だと存じます。ロータリークラブに於ても85年の歴史を改める大きな改革が始まっています。

御承知のことと存じますが一つはロータリーの定款より男子という文字が削除され女性会員の入会が承認されたこと。更に共産圏にもロータリークラブが普及し4月にはモスコウにロータリークラブが設立されることが決まりました。

世界の動向は今やロータリークラブの奉仕の理想の理念が地球的に理解されロータリーコールが大きくなうねりとなって拡がっております。このような時期に飯能ロータリークラブが25周年を迎えたことは意義のあることだと存じます。

飯能ロータリークラブ25年の歩みの中で会員皆様のたゆまぬ奉仕の理想の実践活動は地域の文化、教育、福祉等広範囲に大きく貢献し、地域に於ける理解と評価は不動のものとなって指示されていると信じます。また、25年の年月はロータリアン皆様に奉仕の使命感とそのよろこびロータリーの実践哲学をおしえ、今日まで数多くのすぐれたロータリアンの育成がなされそれが地域に於て大きな存在となっていると存じます。

緑と清流の飯能、歴史と伝統をもつ飯能、そういう郷土を背景にもつ飯能ロータリークラブが21世紀に向けて大きく飛躍されることを期待しております。

東清州R.C.会長

朴 恒 淳 殿

飯能ロータリークラブの25周年記念式典に表敬団体を率いて参列することが出来ましたことを心より喜ぶものであります。

昨年の東清州ロータリークラブ20周年にあたりましては多数の飯能クラブの会員の参加を頂き盛大な行事が出来ましたことをこの場を借りて御礼申し上げます。

韓国と日本とは地理的にも文化面でも密接不可分の関係にあると存じます。それ故東清州クラブと飯能クラブの姉妹関係は二十年にも及んで続いたのだと思います。

この20年間二つのクラブはお互の友情を分け合いお互に協調し合い、お互に理解し合っ
てまいりました。私たちの姉妹関係はますます発展し国際理解に大きく役立つと存じます。

私たちの関係がいつまでも続くことを祈ってやみません。

飯 能 市 長

小 山 誠 三 殿

25年の歴史をつみかさねた飯能ロータリークラブに深く敬意を表します。

飯能ロータリークラブ20年史を拝見させて頂き皆さま方の歴史の中には奉仕の理想が高く掲げられ、そして皆様が数々の御業績を残されたことを知りました。皆様がこの地域の先達として飯能を導いて下さったという思いをあらためて感ずるものであります。

私は会員の皆さんの御顔を拝見し又飯能クラブの歴史を思うとき頭に浮かぶ言葉があります。それは孔子の言った「徳は孤ならず、必ず隣あり」という言葉です。

今日も隣人である東清州ロータリークラブの方々を迎えて25周年の記念行事が行われることに拍手を送りたい思いです。

私たちは行政サイドで人づくり街づくりを押し進めておりますがなかなか思うようにはまいません。

皆様の活動はこの飯能にしっかりと根を生やしたもので、これは歴代の会長さんを中心に会員の皆様の御努力の賜と存じます。そして市制の伸展につきましても皆様の御尽力と御協力が大きな支えとなっていることも事実であり厚く感謝申し上げる次第です。何とぞ今後とも一層の御協力を賜りますよう御願い致します。

どうか皆様におかれましては益々御健勝で御活躍なされ飯能ロータリークラブがさらに発展することを祈念させて頂きまして御祝いの言葉といたします。

名栗村村長 浅 見 寅 雄 殿

メッセージ代読 田 地 幸 助 殿

本日は飯能ロータリークラブ25周年ということで大変国際色豊かな会合にお招きを受けたことを深く感謝しております。

ロータリークラブの皆様方には平素より名栗村の行政に対し暖かい御支援を賜わり、お陰様で明るい村づくりが出来ていることを先づもって厚く御礼申し上げます。

25周年の年輪にはさぞかし御苦勞もあつたことと存じますが、これも節目でありますので先人の苦勞をしのんで頂きながら又30年50年と新しい年輪を重ねるように会員の皆様には御研鑽を積んで頂きたいと存じます。

地域社会に貢献するとともに世界平和のために力を合わせておられる皆様方に心より敬意を表するものであります。

25周年を心からお祝い申し上げますとともに、飯能ロータリークラブのますますの御隆盛と御参会の皆様方の御健康と御多幸をお祈り申し上げながら祝辞といたします。

○ 創立会員代表挨拶

初代パスト会長 平岡文夫

本日の飯能ロータリークラブ25周年記念にあたりましては御来賓の皆様にはお忙がしいところをお出かけ頂きありがとうございます。また遠く韓国の東清州ロータリークラブの方々に御参列頂いておりますが、こういうことは創立の時には考えられないことで大変結構なことだと存じます。どうもありがとうございました。

創立会員を代表して20周年にも御挨拶させて頂きましたが今ここに25周年の御挨拶をさせて頂くことにつきましては自分たちの誕生日を祝って頂いているような感じで有難く思っております。

その当時のことにつきましては、昭和34年に武蔵ロータリークラブが豊岡、飯能、狭山を中心にスタートいたしました。その頃、東雲亭の横川のおじいさん、もと市長の小林さんに私を交じえ4、5人でクラブに出席したことを覚えています。魚一という料亭で座敷で例会が行われました。日本でも始めてだということです。

電車に乗って豊岡まで行きまして、最初はとんだ所に入ってしまったと思いましたが。しかし会員の皆様と親しくなるにつれてこれはすばらしい会だということが判りました。

そこで、創立会員の皆様とはかつて昭和39年に飯能ロータリークラブを創りました。当時飯能には元加治分村事件、日本セメント事件等騒じよう事件が相次ぎ街の中の人心もおだやかではありませんでした。飯能の心を一つに合わせるためにもロータリークラブを作るべきだと創立会員で話し合いここに飯能ロータリークラブが発足しました。クラブの歴代の役員及び会員の御努力で飯能はおだやかな立派な街に成長したと私は自負しております。

今、創立会員で残っているのは6名です。今その方たちの名前を申し上げますので御起立をお願いします。

吉島君、吉田（富）君、井上君、新井君、細田（徳）君それに私の6人です。

お亡くなりになった創立会員は西方浄土で25周年を祝福してくれているような気がします。物故会員の御冥福を祈ります。

日本の経済は目覚ましい発展をしましたが精神面ではおこなれているような気がします。これからは心の時代だと思います。心の中心として飯能ロータリークラブが発展することを祈念して御挨拶いたします。

○ 会 員 表 彰

25年以上在席者 S.39年 7名

○新井清平 平岡文夫 細田徳二郎 井上太平
吉島力良 吉田富雄 故・曾根丈治良

20年～24年 S.40～44年 3名

江原 寿 ○溝口卓男 竹田久治

15年～19年 S.45～49年 7名

林 幸一 萩野映明 五十嵐喜八郎
森 和夫 大野勝男 清水栄次 ○斉藤文雄

10年～14年 S.50～54年 17名

細田吉春 細田伴次郎 橋本 茂
石井照雄 市野四一 加藤 栄
中里 弘 大野康夫 大木重雄
大浦邦雄 ○関谷 昭 関口久夫
吉田 勇 吉田武義 横手惣司
横田岩雄 福田 博

合計 34名

○印 代表

○ 閉会の挨拶

実行副委員長 江原 寿

飯能ロータリークラブ創立25周年記念式典が大変盛大に出来ました。皆様の御協力まことにありがとうございました。

委員長より丁重な御礼を申し上げよと指示がございましたが時間の関係でこれをもって終らせて頂きます。

ありがとうございました。

記念講演

パストガバナー

繁田正一殿

飯能ロータリークラブの創立当時の話をしろということで二つ返事で引き受けましたがプログラムには記念講演ということになっておりちょっと戸惑いを感じています。

ロータリーが1905年、今から85年前に誕生したということは皆様御存知のことと存じます。日本にロータリークラブが出来たのは何時かと言いますとそれは大正10年です。

その経緯を申し上げますと、当時三井物産の福島さんという方がアメリカのグラスで支店長をしておりグラスのロータリークラブの会員になりました。その福島さんは日本人として初めてのロータリアンです。福島さんが日本に帰る時、グラスのクラブより日本にもロータリークラブを作ってはどうかという話がありました。

その前に、三井銀行の常務をしていた米山梅吉翁が政府の財政視察でアメリカに行き、福島さんからロータリーのことを聞き、クラブにも出席してロータリーとは素晴らしいものだという認識をもって帰ってきた。そのあと福島さんも帰って来て、日本にもロータリーを作るようにと言われたという話を聞き大正9年米山さんを中心に18名の方が三井銀行のホールに集って創立総会をしました。それが日本のロータリーの出発です。その時の特別代表は福島さんでした。当時は飛行機がありませんから書類は船で送りました。そのため時間がかかりそれから半年後の大正10年4月に認証状が届きました。ここで正式に東京クラブが国際ロータリーに加盟することが出来たわけです。東京クラブの初代の会長は米山さん、幹事は福島さんでした。更に会員となるための条件はと言いますと、第一に東京の財界の一流人であるということ、第二に英語がしゃべれるということでした。だから人数もしばられてしまったわけです。ともかく18人のエリート会員を擁する東京クラブが発足しました。その時の年会費が60円つまり月5円です。又入会金は20円でした。

2年後の大正12年には関東大震災がありました。あの時は東京で10万人位の人が亡くなっていると思います。小田原の手前に舞鶴という所がございます。昔の東海道線は舞鶴の海の涯っぶちを通っていましたがそこで地震に遭った列車は100mも下の海に落ちて乗客全員死亡するという事故もありました。そんな悲惨な事実が世界中に伝わり世界の503のロータリークラブより8万ドルの見舞金を頂戴しました。その頃の金にして3,000万円位でしょうか。当時の大工さんの日当は1円ぐらいでした。かけそばが7銭という時代に3,000万円の見舞金が届いたわけですから、ロータリーとは凄いものだとしてロータリーに対する認識が新たになりました。

われわれは、災害のあった地域に何がしかの御見舞を提出していますが、それは関東大震災の時の御札という意味もあってその後慣習化されたものです。

ロータリーが拡大され新しいクラブが大阪に出来、更に神戸、京都、福岡、仙台、札幌と出来、ロータリーの数が48クラブになった時が昭和15年です。あのいまわしい軍国時代にぶつかりました。あの時には皇紀2600年という歌が出来まして、日本中で津々浦々2600年を祝って旗行列、提灯行列が行われました。それから50年、今年が2650年ということになるわけですが誰も何とも言っていません。あの騒ぎも作られたものだったのかという感を深くしています。またその年には東京でオリンピックが行われる予定でしたが戦争ということで見送られてしまいました。更に、政党は軍の圧力で解散させられ、大政翼賛会一本にまとめさせられました。そして軍国主義一色に日本は塗りつぶされたのでした。その15年にはロータリーの例会に憲兵が出席するようになりました。ロータリーは何をしているのかと目を光らせたのです。そしてアメリカに本部のあるロータリーは解散するようにと圧力をかけてきました。そして日本のロータリーはついに、国際ロータリーを離脱し、日本は戦争に突入したのです。

昭和20年に日本は敗戦。アメリカよりマッカーサーが来日し日本はG.H.Q.の支配下に入りました。

昭和24年にロータリー復帰委員会が出来シカゴの本部よりジョージ・ミーンズさんという事務総長が来日しG.H.Q.と交渉し東京クラブ他6クラブが国際ロータリーに復帰することが出来ました。

その頃、埼玉銀行の偉い人が人を介して東京クラブに加入の申込をしたところノーとことわられたという事がありました。それから二、三年して東京クラブはロータリーの民主化、大衆化ということで拡大にふみきり埼玉の浦和商工会議所に話をもっていきました。埼玉の件があったので今度は浦和でノーという返事をいたしました。そこで大宮の商工会議所に話をもってゆきました。大宮はたまたま選挙違反で有力者が100人程が検挙されていてこれもだめ。そして話が川越にもちこまれ、ここに始めて埼玉に第一番目のロータリークラブが誕生したわけです。

ところが昭和30年から昭和35年頃はロータリーを作ろうと思っても集まる適当な場所がないという実情でした。そこで埼玉の長島頭取がロータリーと浦和の商工会議所との間の軋轢とを解消する意味で埼玉の各支店に会場を提供するように指示したのだと思いますが、ロータリーにとって会場を確保するのが容易になり続々ロータリーが誕生しました。これは長島頭取の大きな功績だと思います。埼玉では、川越、熊谷、浦和、大宮という順でロータリークラブが出来ました。

大宮クラブは拡大のために所沢の商工会議所に話をもってゆきましたがノーとことわられてしまいました。そこで飯能の商工会議所に話が持ちこまれたわけです。ところが飯能

だけでは人数が足りそうにないので入間、狭山にも呼びかけて広い範囲でクラブを作ろうということになったのです。ともかく飯能がよびかけて昭和34年武蔵ロータリークラブが出来ました。入間が真中だということで駅前の魚一の座敷を例会場といたしました。その時、飯能から来られた方は平岡さんを始め、飯木の小林さん、東雲亭の横川さん、飯能製糸の及川さんでした。あと二人ほどおられたのですがすぐお止めになったので名前は忘れしました。

チャーターナイトは飯能の公民会をお借りして行いました。その頃埼玉には五つしかクラブがなかったのでチャーターナイトに集まった方は奥様方も含めて200人位でした今のチャーターナイトに比べるとささやかなものです。

それから五年経って昭和39年、入間から別かれて飯能にロータリークラブが出来ました。昭和39年東京オリンピックの年でその頃から日本の経済は高度成長し、そういうバックグラウンドのおかげで各地にロータリークラブが出来ました。

飯能の創立総会は商工会議所の2階で行われました。その時大失敗を致しました。新しいクラブはどうやって作るのかその頃はわれわれにはよく判りませんでした。分区代理をした川越の広沢先生に教わりながらやったのですが一番大きいミスは特別代表の選任についてでした。特別代表は入間川ゴムの清水逸平さんをお願いしたのですが—清水さんは代士をしたこともある立派な方です—特別代表はガバナーが任命するものであるにもかかわらずそれを飯能と入間で決めてしまったのです。そして創立総会をするからと東京のガバナーに手紙を出しました。東京から中村米平さんと柏原孫左衛門さんが御見えになったが御機嫌が悪く、一体特別代表をだれが決めたかといきなりお叱りを受けました。今日の創立総会を認めるわけにはゆかないとも言われましたが、特別代表の清水さん、分区代理の広沢さんそれに私が平謝りに謝り書類を書き直すということで納得してもらいました。それから最初の会員募集はどうやったかという質問があり商工会議所から手紙を出したと答えたらこれもおこられ当日は冷汗のかきっ放しでした。

これは飯能の創立総会の裏話で今まで誰にも言いませんでしたが25年経てば時効だと思ってお話しました。

越生毛呂クラブは飯能がスポンサークラブとなって発足しましたが何故飯能がスポンサークラブになったかと言いますと当時は越生や毛呂は飯能警察署の管轄下にあり越生と毛呂は飯能と密接な関係にあったわけです。そんなことで飯能がスポンサークラブになりました。

日高クラブにつきましては始め高麗の比留間先生、後藤局長が着々と準備しておりましたが二人とも亡くなられてしまって設立が二年程おくれたのではなかったでしょうか。

何れにしても子クラブを二つも持って飯能クラブは25年の間にすばらしいクラブに発展

してきました。これからの御活躍も期待しております。

これは新しいニュースとして申し上げるのですが東ヨーロッパのポーランドとハンガリーにロータリークラブが出来ました。そして今またモスクウに出来つつあります。

ロータリーもいよいよインターナショナルになったと思いき嬉しい限りです。

飯能クラブの歴史がそしてロータリーの歴史が永遠に続くことを確信しつつ話を終らせて頂きます。





飯能ロータリークラブ 22年以降5年間の記録



ごみゼロ運動
H2.5.9(水)

飯能R.C.創立より21年迄の記録は
5年史、10年史、15年史、20年史
に収められているので割愛する。

1985.7—1986.6年度

役員構成及び委員長 (1985.7～1986.6)

役員構成

| | | | |
|---------|---------|-------------|-------------|
| 会 長 | 森 和 夫 | 理 事 | 林 幸 一 |
| 副 会 長 | 大 野 勝 男 | " | 橋 本 茂 |
| 幹 事 | 細 田 吉 春 | " | 大 木 重 雄 |
| 副 幹 事 | 福 田 博 | " | 加 藤 義 雄 |
| 会 計 | 志 村 武 夫 | " | 五 十 嵐 久 四 郎 |
| S A A | 中 里 弘 | 直 前 会 長 | 斉 藤 文 雄 |
| 副 S A A | 横 手 惣 司 | 会 長 エ レ ク ト | 清 水 栄 次 |

委員長

| | |
|---------------------|-------------|
| 国 際 奉 仕 委 員 会 | 林 幸 一 |
| 世 界 社 会 奉 仕 委 員 会 | 村 野 一 男 |
| ロ ー タ リ ー 財 団 委 員 会 | 関 谷 昭 |
| 米 山 奨 学 委 員 会 | 大 久 保 一 郎 |
| 社 会 奉 仕 委 員 会 | 大 木 重 雄 |
| 青 少 年 委 員 会 | 市 川 清 二 |
| 環 境 保 全 委 員 会 | 山 川 秀 男 |
| 職 業 奉 仕 委 員 会 | 橋 本 茂 |
| ク ラ ブ 奉 仕 委 員 会 | 大 野 勝 男 |
| プ ロ グ ラ ム 委 員 会 | 加 藤 義 雄 |
| 親 睦 委 員 会 | 五 十 嵐 久 四 郎 |
| ロ ー タ リ ー 情 報 委 員 会 | 斉 藤 文 雄 |
| 会 員 増 強 委 員 会 | 吉 田 富 雄 |
| 職 業 分 類 委 員 会 | 鈴 木 昭 平 |
| 会 員 選 考 委 員 会 | 井 上 太 平 |
| 出 席 委 員 会 | 大 木 道 太 郎 |
| 会 報 委 員 会 | 村 田 洋 介 |
| 雑 誌 委 員 会 | 八 鍬 幸 彦 |
| 広 報 委 員 会 | 大 久 保 勝 彦 |



1985.7~1986.6

主要行事及び卓話

| 月 日 | 例会数 | |
|--------|-------|---|
| 7. 24 | 1,092 | 藍原寧会員「失明について」 |
| 7. 31 | 1,093 | 島田欽一氏「用字、用語、表記のあり方」 |
| 8. 7 | 1,094 | 小谷野寛一先生「郷土の民俗」 |
| 8. 14 | 1,095 | 坂口和子先生「石の信仰」 |
| 8. 28 | 1,097 | 田辺弥一会員「ネパールを旅して」 |
| 9. 4 | 1,098 | 埼玉県旅券外事課 長沢忠博氏「国際交流の狭間に」 |
| 9. 11 | 1,099 | 飯能市社会教育課長 森田清次氏
「青少年団体の活動と雑話」 |
| 9. 25 | 1,101 | 大野康夫会員「西川材のおいたち」 |
| 10. 2 | 1,102 | 聖望学園 楠美省三先生
「教育とスポーツ」 |
| 10. 9 | 1,103 | 志村義一氏
「ビルマの状況とインパール作戦、戦没者供養について」 |
| 10. 16 | 1,104 | 東京大学教授 西 恵三先生「ハレー彗星について」 |
| 10. 23 | 1,105 | 橋本 茂会員「職業奉仕月間にちなんで」
大久保一郎会員「米山月間にちなんで」 |
| 10. 30 | 1,106 | 井口 茂弁護士「法津と常識」 |
| 11. 3 | | 鳩ヶ谷武南ロータリークラブ 認証状伝達式 |
| 11. 13 | 1,108 | 財団奨学生 高橋文彦君
「オーストラリアから見た日本」 |
| 11. 20 | 1,109 | 沼部 要先生「漢字の意味するもの」 |
| 11. 23 | | 川口北東ロータリークラブ認証式 |
| 11. 27 | 1,110 | 大野篁軒先生「よい書とうまい書」 |
| 12. 11 | 1,112 | 斉藤文雄会員「長生きについて」 |
| 1. 18 | 1,113 | クリスマス会 於丸広飯能店 |
| 1. 18 | | 国際ロータリー第257地区大会 |
| 1. 22 | 1,118 | 飯能市長 市川宗貞殿
名栗村長 浅見寅雄殿 |
| 1. 29 | 1,110 | 埼玉銀行調査部主任調査役 小島正之氏
「今年の日本経済」 |

| | | |
|-------|-------|---|
| 2. 5 | 1,120 | 世界理解月間
クレマー博士 エルザ・デルカさん
ハージット・コーさん 秋沢淳子さん |
| 2. 12 | 1,121 | 西所沢ロータリークラブ創立総会 |
| 2. 19 | 1,122 | 平岡文夫会員「能」について |
| 2. 26 | 1,123 | 中善寺登喜次バストガバナー「創立記念日にちなんで」 |
| 3. 5 | 1,124 | 栗原広吉会員「私の過去」
石川利夫会員「電話について」 |
| 3. 19 | 1,126 | 村上 黎甫先生「華曼茶羅」 |
| 3. 26 | 1,127 | 太田萬里先生「草木染について」 |
| 4. 2 | 1,128 | ネパール結核予防協会事務局長 プラタン氏
「ネパールの結核予防状況について」 |
| 4. 9 | 1,129 | チュニジア大使館参事官 アブデラザックシュアリ氏
「チュニジアについて」 |
| 4. 10 | | 狭山ロータリークラブ創立20周年記念式典参加 |
| 4. 16 | 1,130 | 松田蘭風先生「水戸黄門の実像について」 |
| 4. 19 | | 第257地区協議会参加 |
| 4. 23 | 1,131 | 新井清寿先生「角度を変えて見る眼」 |
| 4. 30 | 1,132 | 柴田千頭男会員「北スマトラバタクを訪ねて」 |
| 5. 14 | 1,134 | 金子兜太先生「俳諧のはなし」 |
| 5. 21 | 1,135 | 石井栄一会員「私の趣味」
志村武夫会員「リーダーシップ」 |
| 5. 24 | | 川口モーニングロータリークラブ伝達式参加 |
| 5. 28 | 1,136 | 所沢税務署長 村木 孝氏「酒について」 |
| 6. 4 | 1,137 | 中里光男氏「企業教育と学校教育」 |
| 6. 11 | 1,138 | 入間R C 沢田寿雄氏
映画「世界社会奉仕ネパールの旅」 |
| 6. 18 | | 親睦旅行 伊東 よねわか荘 |
| 6. 19 | 1,139 | |
| 6. 22 | | 所沢西ロータリークラブ認証状伝達式 |

任期を終了して

第二十二代会長 森 和 夫



会長に就任するにあたり、私は「長」と名のつく者の条件として「頭の回転が速いこと、弁舌がさわやかであること、酒が呑めること」をあげましたが、任期を了えて一年間を振り返ってみますと、まさに会長の名に値しない自分ではなかったかという反省しきりです。

頭の回転が鈍いためいつもまごまごしていましたし、訥弁なためいつも意を十分に伝え得なかったし、また私が酒が呑めないため、酒の好きな会員にとっては物足りない年度だったのではないかと思っています。

しかし、本年度は抜群のアシスタントに恵まれたと考えています。大野勝男副会長、細田吉春幹事、中里弘SAA並びに役員、委員長の皆様の御協力があったからこそ曲りなりにも会長をつとめさせて頂くことができたのだと思っています。御協力頂いた方々に心から御礼申し上げます。

なお、本年度は田中徳兵衛ガバナーの夫人参加のロータリーという呼びかけもあって、年度早々のガバナー訪問から、会員各位の御夫人に御協力頂きましたことに対して深く感謝しております。

昨年度は当クラブ創立20周年記念式典をはじめ、対外的なロータリー活動の多い年度でしたが、本年度は内部の充実をはかるため親睦活動にポイントをおいたロータリー活動を心掛けました。

親睦活動委員会はよくその趣旨にそって活動してくれました。
○サイボクガーデンハウスでの家族ぐるみの夜間例会、家族をまじ

えての観劇、日高クラブとの親睦ゴルフ会。

プログラム委員会にはバラエティーに富んだ卓話を聞かせて頂きました。

○とくに一般公開した金子兜太先生の講演
クラブ奉仕委員会の他の委員会もそれぞれ活躍して頂きました。

国際奉仕委員会では

○ブレア中学生の歓迎、飯能市制施行30周年記念式典に参加されたブレアのロータリアンであるカレイ・ネルソン夫妻、エドガー・シール夫妻の歓迎とホームステイ。

米山奨学委員会における昨年度に続いての100万円クラブとしての目標達成

社会奉仕委員会では

○市民福祉デーの行事「さくらんぼ坊や」の山崎定人氏の講演と映画に参加

環境保全委員会における有間ダム見学

職業奉仕委員会では

○四つのテストの斉唱、日本鋼管京浜製鉄所見学

等々たくさんさんの業績を残しました。

会員の皆様にも地区大会、狭山ロータリークラブの創立20周年記念式典、所沢西ロータリークラブの認証状伝達式には多数御参加頂きありがとうございました。

本年度で完結しなかった企画もありますが、この件につきましては早期の実現を期したいと思っています。それは、飯能ロータリークラブ20年史の発行とクラブの文化展です。会長の力不足の致すところと深く責任を感じております。

終りに事務局の陰の力に対しあらためて御礼申し上げます。

「去年今年貫く棒の如きもの」という虚子の句があったと思いますが、会長が変わっても飯能ロータリークラブの結束は一本の棒のように続いていくものと信じます。

当クラブのますますの発展を祈念して退任の挨拶とさせていただきます。



S 60. 6. 18 日本鋼管京浜製鉄所見学

1986.7~1987.6年度

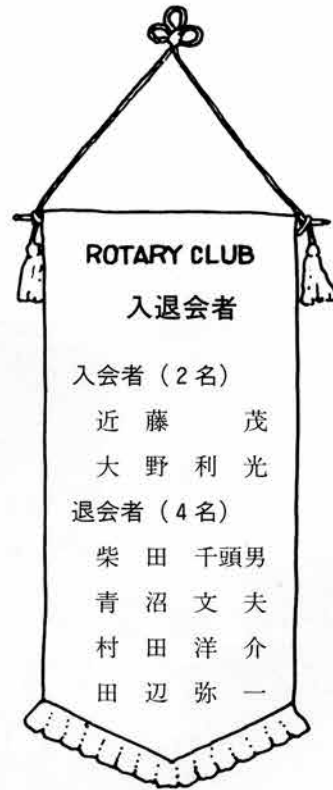
役員構成及び委員長 (1986.7~1987.6)

役員構成

| | | | |
|---------|---------|--------|---------|
| 会 長 | 清 水 栄 次 | 理 事 | 大 浦 邦 雄 |
| 副 会 長 | 関 谷 昭 | " | 大 沢 正 敏 |
| 幹 事 | 福 田 博 | " | 小 川 定 |
| 副 幹 事 | 加 藤 栄 | " | 石 井 照 雄 |
| 会 計 | 志 村 武 夫 | " | 市 川 清 二 |
| S A A | 横 手 惣 司 | 直前会長 | 森 和 夫 |
| 副 S A A | 関 口 久 夫 | 会長エレクト | 大 野 勝 男 |

委員長

| | |
|------------|-------|
| 国際奉仕委員会 | 大浦邦雄 |
| 世界社会奉仕委員会 | 林 幸一 |
| ロータリー財団委員会 | 細田徳二郎 |
| 米山奨学委員会 | 鈴木昭平 |
| ポリオプラス委員会 | 吉田武義 |
| 社会奉仕委員会 | 大沢正敏 |
| 青少年委員会 | 石井道夫 |
| 環境保全委員会 | 吉田武義 |
| 高齢者対策委員会 | 山崎一郎 |
| 職業奉仕委員会 | 小川 定 |
| クラブ奉仕委員会 | 関谷 昭 |
| プログラム委員会 | 石井照雄 |
| 親睦活動委員会 | 市川清二 |
| ロータリー情報委員会 | 森 和夫 |
| 会員増強委員会 | 井上太平 |
| 職業分類委員会 | 田渕甲太郎 |
| 会員選考委員会 | 江原 寿 |
| 出席委員会 | 横田岩雄 |
| 会報委員会 | 岡村政一 |
| 雑誌委員会 | 細田伴次郎 |
| 広報委員会 | 村野一男 |



1986.7~1987.6

主要行事及び卓話

| 月 日 | 例会数 | |
|--------|-------|---|
| 7. 12 | | 草加南ロータリークラブ認証状伝達式 |
| 7. 30 | | 吉田健会員「私の生い立ちと商売」 |
| 8. 6 | 1,146 | 小山次郎氏「飯能の今昔」 |
| 8. 13 | 1,147 | 小谷野寛一氏「石の話」 |
| 8. 20 | 1,148 | 今村清継氏「熟年の活性化」 |
| 8. 27 | 1,149 | (株)サイボクハム社長 笹崎龍雄氏
「食文化と消費者の動向」 |
| 9. 3 | 1,150 | 虎沢英雄氏「飯能焼について」 |
| 9. 10 | 1,151 | 上智大学 アルフォンス・デーケン
「人間性とユーモアについて」 |
| 9. 17 | 1,152 | 石井 晃先生「茶道について」 |
| 10. 1 | 1,154 | ガバナー公式訪問 (佐野康博ガバナー) |
| 10. 8 | 1,155 | 吉田保治先生「飯能昔よもやま話」 |
| 10. 15 | 1,156 | 狭山RC 牧野逸朗氏
「職業奉任月間にちなんで」 |
| 10. 18 | | 国際ロータリー第257地区年次大会参加 |
| 10. 19 | | |
| 10. 22 | 1,157 | 米国留学生 ケリー・グリッフスさん
「若者の見たアメリカ」 |
| 10. 29 | 1,158 | セブンイレブン、ジャパン専務取締役 清水秀雄氏
「POSの裏面について」 |
| 11. 5 | 1,159 | 繁田正一パストガバナー「ロータリー財団月間にちなんで」 |
| 11. 8 | | 韓国東清州ロータリークラブ訪問 |
| 11. 10 | | |
| 11. 12 | 1,160 | 秀明学園理事長 川島寛士先生
「教育の現状と問題点」 |
| 11. 19 | 1,161 | 広渡寺住職 平山良映氏
「ビルマ戦争体験記」 |
| 11. 26 | 1,162 | 第一勧業銀行 坊 昭範氏
「日本経済の動向について」 |
| 12. 6 | | 川口ロータリークラブ認証式参加 |
| 12. 10 | 1,164 | 森田 豊先生「石の話」 |
| 12. 17 | 1,165 | クリスマス会 於富士見公民館 |
| 12. 24 | 1,166 | 横田稲吉先生「野草雑感」 |

| | | |
|-------|-------|---|
| 1. 7 | 1,168 | 年頭のご挨拶
飯能市長 市川宗貞殿
名栗村長 浅見寅雄殿 |
| 1. 14 | 1,169 | 所沢労働基準監督署長 宮崎昌治殿
「労働基準行政をめぐる諸問題について」 |
| 1. 28 | 1,171 | 若林利代先生「児童文学について」 |
| 2. 4 | 1,172 | 福島良治パストガバナー「世界理解月間にちなんで」 |
| 2. 18 | 1,174 | 第八分区 I M
於国立リハビリテーション |
| 2. 25 | 1,175 | 観劇会 新橋演舞場 |
| 3. 4 | 1,176 | 柳内賢治氏「飯能近辺の歴史」 |
| 3. 11 | 1,177 | 石井照雄会員「エイズ」について |
| 3. 18 | 1,178 | 原島英雄先生「私の履歴書」 |
| 3. 25 | 1,179 | フレデリック・クレマー氏「日本の教育、アメリカの教育」 |
| 4. 1 | 1,180 | 白取幼稚園理事長 石間戸宗明先生
「幼児と雑誌」 |
| 4. 8 | 1,181 | 矢野和江先生「アメリカの結婚と家庭」 |
| 4. 15 | 1,182 | 斉藤栄三郎氏「売上税」録音テープ |
| 4. 22 | 1,183 | 西野昭太郎氏「水の話」 |
| 4. 25 | | 第257地区協議会 |
| 5. 6 | 1,185 | 坂口和子先生「花と日本人」 |
| 5. 13 | 1,186 | 増岡前陸上自衛隊東部方面総監
「国防について」 |
| 5. 20 | 1,187 | 武蔵野音楽大学助教授 林万里子先生
「音楽について」 |
| 5. 24 | | 川本ロータリークラブ認証状伝達式参加 |
| 5. 27 | 1,188 | 大野利光会員「株の話」
近藤 茂会員「私の経歴」 |
| 6. 3 | 1,189 | 駿河台大学教授 田中 実氏
「命名と法律」 |
| 6. 10 | 1,190 | 石井 晃先生「陶器の話」 |
| 6. 15 | | 大宮中央ロータリークラブ認証式参加 |
| 6. 17 | 1,191 | 親睦旅行 (月岡温泉ホテルひさご荘
柏崎刈羽原子力発電所見学) |
| 6. 18 | | |
| 6. 24 | 1,192 | 渡辺文雄氏「食について」 |
| 6. 26 | | 越谷東ロータリークラブ認証状伝達式 |

任期を終了して

第二十三代会長 清水栄次



諸先輩の努力による伝統ある第二十三代会長をお引受し、駄馬なるが故に当初どうなる事かと懸念致しましたが、過ぎ去ってしまうと一年間は誠に早いもので、多々不行届き至らぬ点があった事とは存じますが、幸い関谷副会長さん福田幹事さんを始め役員の方々にはもとより希望をもたらすロータリーとして会員皆様様の創意と熱意による御協力と熱い友情の支えによってお蔭様で何とか数々の行事も滞りなく行う事が出来得まして厚く御礼申し上げます。

此の間10月1日のガバナー公式訪問の成果、年次大会への御夫人を含む多数の方々のご参加、ポリオキャンペーン、高齢者対策委員会のベンチの寄贈、日韓国際親善交流による東清州RCへの訪問、IMの成果による受賞、平沼・細田両会員の功績による米山功労クラブとしての受賞、萩野・細田(伴)・清水会員のポールハリスフェローを始め、多数の方々による準フェローの誕生、財団への多大な貢献(12月末現在で7,700%)、当クラブ推薦による金弼東君、金泰弘君の初めての米山奨学生に合格、2名の新会員を迎え、数々の有能な卓話者によるプログラム、渡辺文雄氏の講演、有終の美を飾るにふさわしい巨大なスケール柏崎刈羽原子力発電所の研修旅行、新橋演舞場での観劇等々、行事計画の円滑な運営と奉仕活動を通しての親睦活動が行われ、私の永い人生の中、輝ける充実した1年として終生忘れ得ぬ幾多の思い出を後に任期を終了する事が出来得まして誠に有難く深く感謝致して居ります。

尚、次年度につきましては、私と異り頭の回転が非常に早い弁舌さわやかな大野新会長さんですが、細田新分区代理さんと共に、今後共変らぬ御支援の程賜りまして、伝統ある飯能RCの限りなき御発展と、地域社会に貢献する企業として会員皆様様の一層の御事業の発展、御家族皆様様の御多幸を御祈念申し上げ退任の御挨拶に替えさせていただきます。

終りに陰の力、事務局に対し厚く御礼申し上げます。



S61.12.17 クリスマス会
勤続 社昌夷彰

1987.7~1988.6年度

役員構成及び委員長 (1987.7~1988.6)

役員構成

| | | | |
|---------|--------|--------|---------|
| 第八分区代理 | 細田 徳二郎 | | |
| 会長(理事) | 大野 勝男 | 理事 | 大浦 邦雄 |
| 副会長(理事) | 大久保 一郎 | " | 大野 康夫 |
| 幹事 | 加藤 栄 | " | 加藤 義雄 |
| 副幹事 | 横手 惣司 | " | 中里 弘 |
| 会計 | 川島 博 | " | 田 渕 甲太郎 |
| S A A | 関口 久夫 | 直前会長 | 清水 栄次 |
| 副S A A | 柿沼 良典 | 会長エレクト | 関谷 昭 |

委員長

| | |
|------------|---------|
| 国際奉仕委員会 | 大浦 邦雄 |
| 世界社会奉仕委員会 | 細田 吉春 |
| ロータリー財団委員会 | 石井 照雄 |
| 米山奨学委員会 | 大木道太郎 |
| ポリオプラス委員会 | 吉田 武義 |
| 社会奉仕委員会 | 大野 康夫 |
| 青少年委員会 | 大久保勝彦 |
| 環境保全委員会 | 林 幸一 |
| 高齢者対策委員会 | 岡村 政一 |
| 職業奉仕委員会 | 加藤 義雄 |
| クラブ奉仕委員会 | 大久保一郎 |
| プログラム委員会 | 中里 弘 |
| 親睦活動委員会 | 田渕甲太郎 |
| ロータリー情報委員会 | 清水 栄次 |
| 会員増強委員会 | 曾根 丈治良 |
| 職業分類委員会 | 竹田 久治 |
| 会員選考委員会 | 山川 秀男 |
| 出席委員会 | 吉田 勇 |
| 会報委員会 | 大木 重雄 |
| 雑誌委員会 | 溝口 卓男 |
| 広報委員会 | 沢 辺 澗 彦 |



1987.7~1988.6

主要行事及び卓話

| 月 日 | 例会数 | |
|--------|-------|--------------------------------------|
| 7. 29 | 1,197 | 第八分区代理 細田徳二郎会員卓話 |
| 8. 5 | 1,198 | ヤオコー常務 犬行一浩氏「手品」 |
| 8. 12 | 1,199 | 飯能警察署長 後上一般氏
「飯能警察署管内に思うこと」 |
| 8. 19 | 1,200 | 飯能市建設部長 大沢藤助氏
「都市計画について」 |
| 9. 2 | 1,202 | 平岡文夫会員「行政相談とは」 |
| 9. 16 | 1,204 | 安藤富治先生「青少年問題について」 |
| 9. 28 | 1,206 | 阿部完市ガバナー「ガバナー公式訪問卓話」 |
| 10. 7 | 1,207 | 飯能青年会議所理事長 杉田多可雄氏
「すきです飯能」 |
| 10. 14 | 1,208 | 家族会 竹寺にて |
| 10. 21 | 1,209 | 毛塚京子先生「香の世界」 |
| 10. 28 | 1,210 | 第257地区大会 |
| 11. 11 | 1,212 | 飯能市企画財政部長 町田成夫氏
「街づくり」 |
| 11. 18 | 1,213 | 第一勧業銀行調査部 神 吉正氏
「今後の日本経済の動向」 |
| 11. 25 | 1,214 | テレビ飯能取締役 高篠平太郎氏
「ケーブルテレビ事業について」 |
| 12. 9 | 1,216 | 人権擁護委員 石川正夫先生
「人権の擁護について」 |
| 12. 16 | 1,217 | 田部井淳子先生「山について」 |
| 12. 23 | 1,218 | 飯能、日高RC合同クリスマス会 丸広 |
| 1. 6 | 1,220 | 年頭のご挨拶
飯能市市長 市川宗貞氏
名栗村村長 浅見寅雄氏 |
| 1. 20 | 1,222 | 辰年生れの会員卓話
関谷 昭会員、沢辺澗壺会員 |
| 1. 27 | 1,223 | 参議院議員 石井道子先生 |
| 2. 3 | 1,224 | フランス留学生 ミリアム・ジョスレイさん
「日本に来て」 |

| | | |
|-------|-------|--------------------------------------|
| 2. 12 | 1,225 | 第257地区第八分区インターシテーターミーティング
飯能市市民会館 |
| 2. 24 | 1,227 | 飯能市議会議長 小谷野太郎氏
「飯能市の状況について」 |
| 3. 2 | 1,228 | 中国留学生 全 英先生
「中国の女性について」 |
| 3. 9 | 1,229 | 米山留学生 金 泰弘君
「日本とニッポン」 |
| 3. 16 | 1,230 | 谷 元夫先生「日本の防衛の現状」 |
| 3. 23 | 1,231 | 飯能RC日高RC合同例会 三遊亭円遊師匠 |
| 3. 30 | 1,232 | 内沼幸一会員「私の生い立ち」
矢島 巖会員「美杉台の住宅建設」 |
| 4. 6 | 1,233 | 埼玉県議会議員 大川修司先生
「県政と市政のあり方」 |
| 4. 20 | 1,235 | 野々宮高成先平「現下の教育行政について」 |
| 4. 27 | 1,236 | 岩沢邦雄先生「土地について」 |
| 5. 11 | 1,238 | CBSソニー 三浦幸一先生
「心の健康と音楽」 |
| 5. 18 | 1,239 | 柴田千頭男先生卓話 |
| 6. 1 | 1,241 | 飯能市助役 神崎太一氏
「飯能市の現況と今後の展望」 |
| 6. 8 | 1,242 | 所沢税務署長 栗原治夫氏
「税務行政の現状」 |
| 6. 15 | 1,243 | 親睦旅行 帝釈天、浅草、隅田川船下り |
| 6. 29 | 1,245 | 海保義一会員「ゴルフについて」
川島 博会員「支店長教育について」 |

任期を終了して



第二十四代会長 大野 勝 男

お陰様で第24期を終了する事が出来ました。皆様のご協力・ご支援に心から御礼を申し上げます。年度完了に当り改めて計画書をひもどいてみました。各委員会共、立派にそして確実に所定の計画を実行され、多大の成果を挙げて初期の目的を達成されました。感謝の念でいっぱいです。

会長として不行き届きの点、ご迷惑をおかけした事、多々あったものと存じますが、分区代理・副会長・幹事・SAAさん方始め、役員・会員の皆様の友情に支えられて第25期へバトンタッチする事が出来ました。

私にとって生涯忘れ得ない思い出を沢山作っていただいた訳ですが、特に前期のIM開催が思い出されます。

外に列記しますと、20周年記念誌発刊、商工会議所の新築、平岡初代会長さんをはじめ地域の各界の実力者方の、又、国際色豊かな方々による卓話、フェローへの積極的な賛同、ライラ参加、少年サッカー大会、ゲートボール場ベンチ、数回にわたる日高RCとの親睦活動、竹寺、南台、工場見学、隅田川の川遊び、落語鑑賞など本当に多彩でした。そして地区大会、チャーターナイトへの多数のご参加、新入会者6名等、枚挙にいとまがない程、クラブの活性化という大目標達成のためご尽力を賜りました。重ねて会員及び事務局の皆様へ厚く御礼を申し上げます。

その蔭で渡辺道夫PG、赤塚正一PG、武居藤吉元会長、加藤善兵衛元会員、斉藤季利元会員、内沼会員のご尊父、加藤栄会員のご母堂の訃報に接しました。衷心より哀悼の意を表します。

又、長い間在籍されてクラブ発展に大きく貢献されて来た方々（大沢・志村・浅野・山崎・松下・平沼の皆様）6名がご都合に依りという事で残念ながら退会の止むなきに至った事も記載させていただきます。

最後に第25期という節目の年度を迎えて当飯能RCが一層の飛躍発展が関谷会長さんを中心に成就されますようお願いして挨拶といたします。



1988.7~1989.6年度

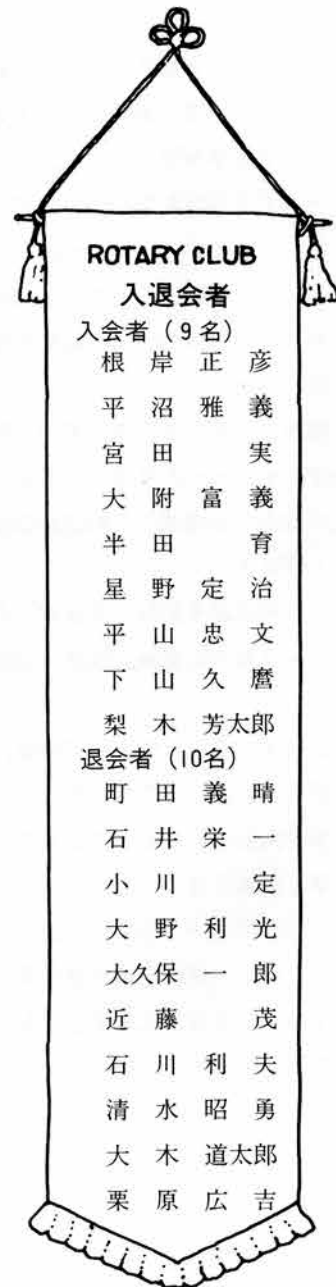
役員構成及委員長 (1988.7~1989.6)

役員構成

| | | | | | |
|---------|-----|-----|--------|-----|-----|
| 会長(理事) | 関 谷 | 昭 | 理 事 | 細 田 | 吉 春 |
| 副会長(理事) | 石 井 | 照 雄 | " | 加 藤 | 義 雄 |
| 幹 事 | 横 手 | 惣 司 | " | 市 川 | 清 二 |
| 副 幹 事 | 橋 本 | 茂 | " | 井 上 | 太 平 |
| 会 計 | 川 島 | 博 | " | 鈴 木 | 昭 平 |
| S A A | 柿 沼 | 良 典 | 直前会長 | 大 野 | 勝 男 |
| 副 S A A | 大 木 | 重 雄 | 会長エレクト | 細 田 | 吉 春 |

委員長

| | |
|------------|--------|
| 国際奉仕委員会 | 細田吉春 |
| 世界社会奉仕委員会 | 林 幸一 |
| ロータリー財団委員会 | 斉藤文雄 |
| 米山奨学委員会 | 大浦邦雄 |
| ポリオプラス委員会 | 吉田武義 |
| 社会奉仕委員会 | 加藤義雄 |
| 青少年委員会 | 沢辺澗彦 |
| 環境保全委員会 | 市野四一 |
| 高齢者対策委員会 | 栗原広吉 |
| 職業奉仕委員会 | 市川清二 |
| クラブ奉仕委員会 | 石井照雄 |
| プログラム委員会 | 井上太平 |
| 親睦活動委員会 | 鈴木昭平 |
| ロータリー情報委員会 | 大野勝男 |
| 会員増強委員会 | 溝口卓男 |
| 職業分類委員会 | 竹田久治 |
| 会員選考委員会 | 細田徳二郎 |
| 出席委員会 | 五十嵐久四郎 |
| 会報委員会 | 大木道太郎 |
| 雑誌委員会 | 岡村政一 |
| 広報委員会 | 山川秀男 |



1988.7～1989.6

主要行事及び卓話

| 月 日 | 例会数 | |
|--------|-------|---------------------------------------|
| 7. 27 | 1,249 | 小谷野寛一先生「民俗むだばなし」 |
| 8. 10 | 1,251 | ガバナー公式訪問 於飯能市市民会館
卓話 岡 祐孝ガバナー |
| 8. 17 | 1,252 | 宮崎三代次氏「終戦記念日にちなんで」 |
| 8. 31 | 1,254 | 飯島卓弘先生「ソウルオリンピックの道」 |
| 9. 7 | 1,255 | 文化新聞社記者 関口修司氏「フィンランドみて歩き」 |
| 9. 14 | 1,256 | ㈱サイギン総合研究所 調査担当部長 高橋紀雄氏
「今後の経済の動向」 |
| 9. 21 | 1,257 | 埼玉銀駅前支店長 中沢外志男氏
「コンピュータと銀行」 |
| 9. 28 | 1,258 | 加治東小学校校長 深田まき先生
「最近の教育」 |
| 10. 5 | 1,259 | 佐藤涼山先生「尺八のはなし」 |
| 10. 12 | 1,260 | 繁田正一パストガバナー「職業奉仕について」 |
| 10. 19 | 1,261 | 特需開発推進部推進室課長 小里健次郎氏
「企業における管理者責任」 |
| 10. 23 | 1,262 | 第257地区年次大会
於本庄文化会館 |
| 11. 9 | 1,264 | 飯能保健所長 前田和秀氏
「腰痛の自己管理」 |
| 11. 16 | 1,265 | 志村義一氏
「ロータリー財団月間にちなんで」 |
| 11. 30 | 1,267 | 石井照雄会員「長生きするには」 |
| 12. 7 | 1,268 | ㈱サイボクハム社長 笹崎竜雄氏
「日本経済の現状と私の人生観」 |
| 12. 21 | 1,270 | クリスマス会 於丸広 |
| 12. 26 | 1,271 | 金子圭一会員「結婚式業界の現状」 |
| 1. 18 | 1,274 | 年頭のご挨拶
飯能市長 市川宗貞様
名栗村村長 浅見寅雄様 |
| 1. 25 | 1,275 | 丸増㈱代表取締役会長 丸山増蔵氏
「エイジシュートの裏ばなし」 |

| | | |
|-------|-------|---|
| 2. 1 | 1,276 | 己年生れの会員卓話
溝口卓男会員 鈴木昭平会員 大久保勝彦会員 |
| 2. 8 | 1,277 | 柴田千頭男氏 ナンシンマーカットさん
世界理解月間にちなんで「このくらの英語は」 |
| 2. 22 | 1,279 | 石井道夫会員「健康について」 |
| 3. 1 | 1,280 | 山口寿秀先生「消費税について」 |
| 3. 8 | 1,281 | 石井照雄会員「ガンについて」 |
| 3. 12 | | 八潮イブニングロータリークラブ認証状伝達式 |
| 3. 15 | 1,282 | 夜間例会
講師 由利 徹氏 |
| 3. 22 | 1,283 | 牛窪栄吉氏「ポリオプラス月間にちなんで」 |
| 3. 29 | 1,284 | 飯能警察署 刑事課長 田村富男氏
「最近における管内の治安情勢について」 |
| 4. 5 | 1,285 | 「飯能クラブ創立記念日にちなんで」
新井清平会員 新井 栄会員 吉島力良会員 |
| 4. 6 | | 川越中央ロータリークラブ認証状伝達式参加 |
| 4. 16 | | 上尾北ロータリークラブ認証状伝達式参加 |
| 4. 19 | 1,287 | 野々宮高成先生「読書をめぐって」 |
| 5. 13 | | 国際ロータリー第257地区協議会 |
| 5. 21 | | 国際大会 韓国ソウル |
| 5. 24 | | |
| 5. 24 | 1,292 | 地区情報委員長 森 三郎氏「促が虫」 |
| 5. 31 | 1,293 | 宮田 実会員「日本の技術」
半田 育会員「山の手と下町」 |
| 6. 7 | 1,294 | 野口正久先生「八王子千人同心と日光街道」 |
| 6. 14 | | |
| 6. 15 | 1,295 | 親睦旅行 熱海金城館、米山梅吉記念館見学 |

任期を終了して



第二十五代会長 関谷 昭

会員の皆様、この一年間至らぬ会長に対する温かい御支援、御協力をいただき誠に有難うございました。石井副会長さん、横手幹事さん、柿沼SAAさんを始めとして各委員長さん、会員の皆さん、事務局の方々全員の方々に御世話になりました事心から感謝申し上げます。

ロイス・アビーRI会長の示された「ロータリーに活力を一あなたの活力を」の意味の深さ。「大切なのは何を言うかでなく何を行うかだからです」のこの言葉が一年間のすべてであったと思います。特に本年はクラブ創立25年と云う記念すべき年、地区協議会のホストを務めさせていただき、平岡実行委員長さんを始め会員の皆様方が自分自分の責任を全うして下さい無事に地区協議会が終了いたしましたことは会長としまして厚く御礼を申し上げる次第です。子クラブであります越生、毛呂ロータリークラブ。姉妹クラブの東清州クラブの20周年式典、又ロータリー国際大会参加等何とかその責をはたさせていただき、参加下さいました会員の方々に御礼申し上げます。年度早々の7月には22年間在籍された名栗村ただ一人の町田義晴会員が逝去され心からの御冥福を御祈りいたします。又年度末には栗原広吉、大木道太郎両会員が突然病魔におそわれ退会されましたことは誠に残念であります。然し増強委員会の皆様のお骨折りで7名の新しい会員をお迎え出来、清新な活動力が加わりました事は最大の喜びです。

地区協議会におきましてロータリー財団基金10,000%実現の表彰をいただき、会員の皆さんに厚く御礼を申し上げます。

「例会に出席しよう」を本年度会長テーマとしましたが、その目的も達せられたものと思います。これからも健康に留意され、地域社会の為に奉仕活動をされますよう祈念いたしまして退任の御挨拶といたします。



1989.7~1990.6年度

役員構成及委員長 (1989.7~1990.6)

役員構成

| | | | |
|---------|-----------|--------|-------------|
| 会長(理事) | 細 田 吉 春 | 理 事 | 吉 田 武 義 |
| 副会長(〃) | 福 田 博 | 〃 | 竹 田 久 治 |
| 幹 事 | 橋 本 茂 | 〃 | 関 口 久 夫 |
| 副 幹 事 | 中 里 弘 | 〃 | 石 井 道 夫 |
| 会 計 | 川 島 満 博 | 〃 | 五 十 嵐 喜 八 郎 |
| S A A | 大 木 重 雄 | 直前会長 | 関 谷 昭 |
| 副 S A A | 細 田 伴 次 郎 | 会長エレクト | 石 井 照 雄 |

委員長

| | |
|-------------|---------|
| 国際奉仕委員会 | 吉田武義 |
| 世界社会奉仕委員会 | 沢辺 澁 彦 |
| ロータリー財団委員会 | 江原 寿 |
| 米山奨学委員会 | 斉藤文雄 |
| ポリオプラス委員会 | 八 鍬 幸 彦 |
| 社会奉仕委員会 | 竹田久治 |
| 青少年委員会 | 大久保勝彦 |
| 環境保全委員会 | 岡村政一 |
| 高齢者対策委員会 | 山川秀男 |
| 職業奉仕委員会 | 関口久夫 |
| クラブ奉仕委員会 | 福田 博 |
| プログラム委員会 | 石井道夫 |
| 親睦活動委員会 | 五十嵐喜八郎 |
| ロータリー情報委員会 | 関谷 昭 |
| 会員増強委員会 | 加藤義雄 |
| 職業分類委員会 | 森 和 夫 |
| 会員選考委員会 | 細田徳二郎 |
| 出席委員会 | 宿谷文平 |
| 会報委員会 | 横田岩雄 |
| 雑誌委員会 | 大浦邦雄 |
| 広報委員会 | 吉田 健 |
| 創立25周年実行委員会 | 井上太平 |



1989.7～1990.6

主要行事及び卓話

| 月 日 | 例会数 | |
|--------|-------|---|
| 8. 2 | 1,302 | 井上太平会員 吉田富雄会員
「ロータリーと私」 |
| 8. 9 | 1,303 | 小山次郎先生「人との出会いふれあい」 |
| 8. 23 | 1,305 | 柳内賢次先生「山岡鉄舟の話」 |
| 8. 30 | 1,306 | 飯能警察署 田村刑事課長
「最近の暴力団情勢と覚醒剤の汚染の実態について」 |
| 9. 13 | 1,308 | 堀一男ガバナー、ガバナー公式訪問 |
| 9. 20 | 1,309 | 清水すみ先生「ガールスカウトについて」 |
| 9. 27 | | 平沼雅義会員「油について」
下山久磨会員「便利な電話あれこれ」 |
| 10. 4 | 1,311 | 中善寺登喜次バスターガバナー「職業奉仕について」 |
| 10. 11 | 1,312 | 半田 育会員「道と街と情報化時代」 |
| 10. 18 | 1,313 | 米山奨学生 金 泰弘君「韓国語と日本語について」 |
| 10. 25 | 1,314 | 平山忠文会員「最近想うこと」
神田康夫会員「薬局とは何か」 |
| 11. 1 | 1,315 | ブレア市長 ジーン・レイトン氏 ネイディーン夫人
「ブレア市について」(通訳レオ・林氏) |
| 11. 8 | 1,316 | 財団奨学生 志村恵子さん
「イギリスに留学して」 |
| 11. 15 | 1,317 | ㈱日本環境調査研究所 山上 保氏
「原子力の必要性和安全性について」 |
| 11. 29 | 1,319 | 国際ロータリー第257地区大会
於 埼玉県東松山文化会館 |
| 12. 13 | 1,321 | 中根速記協会 中根正雄先生
「スピードめものとり方」 |
| 12. 20 | 1,322 | クリスマス会 於 丸広 |
| 1. 10 | 1,325 | 年頭のご挨拶
飯能市市長 小山誠三様 |
| 1. 24 | 1,327 | 兼歳正英NHKディレクター
「春日局について」 |
| 1. 27 | | 入間RC創立30周年記念式典
於 産業文化会館 |

| | | |
|----------------|-------|---|
| 1. 31 | 1,328 | 双木茂夫会員「信用金庫について」
梨木芳太郎会員「飯能の消防について」 |
| 2. 7 | 1,329 | 飯能職業安定所長 野々宮要氏
「最近の人手不足について」 |
| 2. 9 | | 所沢東ロータリークラブ創立総会 |
| 2. 14 | 1,330 | 埼玉医科大学助教授 後藤興四之先生
「遊びが過ぎての潜水医学研究15年」 |
| 2. 21 | 1,331 | 鈴木康弘君「フランスより帰りて」 |
| 2. 28 | 1,332 | 第257地区世界社会奉仕委員長 萩原勝彦氏
「世界理解月間にちなんで」 |
| 3. 7 | 1,333 | 市川宗貞会員「市政24年間の雑感」 |
| 3. 14 | 1,334 | 星野定治会員「証券会社について」
北田輔邦会員「設備の話」 |
| 3. 28 | 1,336 | 落語 入船亭扇橋師匠 |
| 4. 11 | 1,338 | 創立25周年記念式典 於岩清水
繁田正一パストガバナー記念講演 |
| 4. 15 | | 熊谷籠原ロータリークラブ認証状伝達式参加
於 航空自衛隊熊谷基地大講堂 |
| 4. 18 | 1,339 | 飯能市役所環境課長 渡辺 肇氏
「ゴルフ場の農薬について」 |
| 4. 25 | 1,340 | 武居富士会員「ビル経営について」
大附富義会員「飯能スポーツ少年団について」 |
| 5. 2 | 1,341 | リンダー・タムラ先生
「ポートランド紹介」 |
| 5. 16 | 1,343 | 金田哲郎先生「東欧状勢について」 |
| 5. 23 | 1,344 | 東和証券㈱ワラトン部長 伊藤彰一氏
「ワラトン債について」 |
| 5. 30 | 1,345 | 東邦大学第二内科教授 上嶋権兵衛先生
「救急医療について」 |
| 6. 6 | 1,346 | 6/7所沢東ロータリークラブ認証状伝達式参加
於 西武園アイドル共和国 |
| 6. 13
6. 14 | 1,347 | 親睦旅行
鬼怒川温泉 あさや八番館 |

任期を終了して



第二十六代会長 細田 吉春

役員も、各委員会構成も大方できあがり、半年後にはスタートという時点で突然、会長予定者が都合で退会されることになってしまいました。この予期せぬ事態で、早急に次期会長を決めねばならなくなった関谷会長のご苦勞は大変だったことだろうと思われまゝ。そして、“何でもいいから会長を受けてくれ”と指名されたのがこの私でした。いきなり会長指名なのだからそう責任を感じないで気楽にやれ、と先輩の方々から言われ、お引き受けしたのですが、どんなことになるやら、と不安でいっぱいでした。しかし、至らぬ会長でも周りの補佐が良ければやっていけるものだ、と今は実感しております。福田博副会長、橋本茂幹事、大木重雄SAAを始め、有能なる役員、委員の面々のご協力のお陰で、一応の成果を取めることができたものと思っております。

今年度のメイン行事は25周年記念式典でした。井上太平実行委員長の指揮のもとに内容の充実した式典を執り行うことができました。韓国、東清州RCからは、ご夫人同伴にて20名ものご来飯をいただき、式典に花を添えていただきました。25周年を記念する事業としましては、飯能市、名栗村及びフィリピンに対し、寄付をさせていただき、大変喜んでいただきました。

ガバナー公式訪問例会は、和やかな雰囲気で行進でき、堀一男ガバナーから素晴らしいクラブとのお誉めの言葉をいただき“優秀クラブ”と評価していただきました。

クリスマス例会には、大勢のご夫人たちの参加で賑わい、日頃、面識のないご夫人たちとも親睦を深めることができました。

社会奉仕委員会の交通対策事業を始め、環境保全委員会のゴミゼロ例会等、各委員会で積極的に事業を推進していただき、“ロータリーを楽しもう”のテーマどうり、身をもって奉仕の喜びを実感できる活動ができたものと確信しております。

会員増強委員会では、12名という新会員を増強していただき、全会員74名に達しました。これ以上増えると例会場の席がない、と事務局から言われるほどでした。

当年度で何よりも残念だったことは、飯能ロータリークラブのチャーターメ



飯能スポーツ少年団優勝旗のプレゼント

ンバーで指導者の二人、荒井栄様と曾根丈治郎様が御逝去されたことです。ご二人の御冥福を心よりお祈り申し上げます。

今年度は地域社会の共感を得られる奉仕を心掛けてまいりましたが、皆様のご協力のお陰で、ほぼ目的を達成できたものと思っております。一年間、大変ありがとうございました。

最後になりましたが、事務局の佐藤さん、山岸さん、大変お世話になりました。御礼申し上げます。

当クラブの今後益々の発展と皆様のご健康を祈念いたしまして退任の挨拶といたします。ありがとうございました。

22年～26年 写真



S.60.7.17(水) ガバナー公式訪問 (森年度)



S61.12.17(水) クリスマス会 (清水年度)

22年～26年 写真



S 63. 3 .23 夜間例会（大野年度）



飯能ロータリークラブ 於あたま金城館 H元. 6 .14（関谷年度）



25周年記念式典 東清州RC来賓 H2. 4 .11（細田年度）

歴代会長・副会長・幹事

| 代 | 年次 | 会 長 | 副 会 長 | 幹 事 |
|----|-------------------------------|--------|---------|---------|
| 初 | 39.7 ~ 40.6 | 平岡 文 夫 | 双木 卯之助 | 斉藤 承 吉 |
| 2 | 40.7 ~ 41.6 | 小林 貞 治 | 新井 清 平 | 浅見 滝次郎 |
| 3 | 41.7 ~ 42.6 | 双木 卯之助 | 小川 泰 | 吉島 力 良 |
| 4 | 42.7 ~ 43.6 | 新井 清 平 | 土肥 無二三 | 小川 郁次郎 |
| 5 | 43.7 ~ 44.6 | 小川 泰 | 石井 尊四郎 | 荒井 栄 |
| 6 | 44.7 ~ 45.6 | 土肥 無二三 | 梨木 三 六 | 井上 太 平 |
| 7 | 45.7 ~ 46.6 | 石井 尊四郎 | 武居 藤 吉 | 吉田 富 雄 |
| 8 | 46.7 ~ 47.6 | 梨木 三 六 | 中里 進 | 溝口 卓 男 |
| 9 | 47.7 ~ 48.6 | 武居 藤 吉 | 荒井 栄 | 江原 寿 |
| 10 | 48.7 ~ 49.6 | 中里 進 | 吉島 力 良 | 曾根 丈治良 |
| 11 | 49.7 ~ 50.6 | 荒井 栄 | 井上 太 平 | 細田 徳二郎 |
| 12 | 50.7 ~ 51.6 | 吉島 力 良 | 比留間 清次郎 | 小室 敏 一 |
| 13 | 51.7 ~ 52.6 | 井上 太 平 | 細田 徳二郎 | 清水 栄 次 |
| 14 | 52.7 ~ 53.6 | 小室 敏 一 | 吉田 富 雄 | 林 幸 一 |
| 15 | 53.7 ~ 54.6 | 細田 徳二郎 | 曾根 丈治良 | 竹田 久 治 |
| 16 | 54.7 ~ 55.6 | 吉田 富 雄 | 溝口 卓 男 | 森 和 夫 |
| 17 | 55.7 ~ 56.6 | 曾根 丈治良 | 江原 寿 | 大野 勝 男 |
| 18 | 56.7 ~ 57.6 | 溝口 卓 男 | 竹田 久 治 | 関谷 昭 |
| 19 | 57.7 ~ 58.6 | 江原 寿 | 斎藤 文 雄 | 清水 勇 三 |
| 20 | 58.7 ~ 59.6 | 竹田 久 治 | 森 和 夫 | 大久保 一 郎 |
| 21 | 59.7 ~ 60.6 | 斎藤 文 雄 | 清水 栄 次 | 大野 康 夫 |
| 22 | 60.7 ~ 61.6 | 森 和 夫 | 大野 勝 男 | 細田 吉 春 |
| 23 | 61.7 ~ 62.6 | 清水 栄 次 | 関谷 昭 | 福田 博 |
| 24 | 62.7 ~ 63.6 | 大野 勝 男 | 大久保 一 郎 | 加藤 栄 |
| 25 | 63.7 ~ <small>平成</small> 元年 6 | 関谷 昭 | 石井 照 雄 | 横手 惣 司 |
| 26 | <small>平成</small> 元年 7 ~ 2.6 | 細田 吉 春 | 福田 博 | 橋本 茂 |

編 集 後 記

25周年記念行事実行委員会から、予算の関係上、年誌はなるべく費用のかからないようにという要請がありましたが、年誌としての体裁を整えるためには、少なくとも記念行事の記録、20年以降5年間の記録（20年間の記録は20年誌に掲載済み）は収録しなければならず、そのため多少予算をオーバーしたことを先ずお詫び致します。

最小の費用で最大の効果を狙って、25年誌は15年誌、20年誌とは少し形を変えましたがその点もご容赦下さい。

編集委員会は頭ばかり下げている割りの合わない委員会ですが、地味な仕事ながら編集にたずさわっていると、飯能ロータリークラブが歩いてきた道に直かに触れることが出来、その道になつかしさを覚えます。

編集委員として、若い吉田(健)君、矢島君、半田君に名を連ねて頂きましたが、編集にたずさわった若い委員が飯能ロータリークラブ発展への新しい道案内人となることを確信しております。

平成2年10月

| | | |
|------|----|----|
| 編集委員 | 森 | 和夫 |
| 〃 | 溝口 | 卓男 |
| 〃 | 吉田 | 健 |
| 〃 | 矢島 | 巖 |
| 〃 | 半田 | 育 |

飯能ロータリークラブ25年史

平成3年3月27日 印刷
同 発行

発行所 飯能ロータリークラブ
埼玉県飯能市本町1番7号
飯能商工会議所内

印刷所 株式会社文化新聞社
埼玉県飯能市柳町12番10号
